

小寺財団タヴィストック・セミナー

『30年間、日本で乳幼児観察を主宰して学んだこと』

鈴木 龍：（旧）鈴木龍クリニック

趣 旨：本年度は、タヴィストック・クリニックでの御経験後、長年日本で乳幼児観察セミナーを主宰されてきた鈴木龍先生を講師にお招きします。奮ってご参加ください。

講師から：私はロンドンでユング派の精神分析訓練を受ける中で、乳幼児観察のことを聞いてタヴィストック・クリニックでの乳幼児観察コースに参加、多くの体験的学びをえた。日本に帰国して独りでの精神療法クリニックを開業、7年後に乳幼児観察を始めてから30年間、乳幼児観察を主宰してきた。日本での乳幼児観察セミナーから学んだものを、二つの観点から考えたい。一つは北山修の見るなの禁止、共同注視、そして日本的2者関係と夫（父）などの主題との関連。もう一つは日本での観察で目立つ観察者とのアイコンタクトの重要性、観察者に見られての遊びとフロイトのFort-Da遊びとの関連性、観察されるプレイによる原初的不安の克服ではないだろうか。二つの観点から母子関係に関与する第三者として観察者を位置づけたい。

日 程：2025年12月21日（日）午後1時～5時

講 師：鈴木 龍（（旧）鈴木龍クリニック）

略 歴：東大医学部卒、精神医学専攻、8年間ロンドン留学 タヴィストックでの乳幼児観察、その後思春期部門で精神療法の訓練をうける。帰国後、開業精神療法

発表者：畑山由華（東京医科大学病院小児科・思春期科/錦糸町クボタクリニック）

司 会：福本 修（代官山心理・分析オフィス/きしろメンタルクリニック）

討 論：木部則雄（こども・思春期メンタルクリニック/白百合女子大学人間総合学部）

会 場：現地（小寺財団）＋オンライン開催（お申し込みの方にURLを御案内します）

参加費：6,000 円

定 員：70 名

参加者：精神分析に関心があり、臨床実践を行なっている方
（臨床経験の多寡は問いません）

申込方法：下記URLまたは右QRコードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/bgqcEjUGQiha7DjW6>

申込期限：2025年10月21日（火）～12月7日（日）

問合せ先：小寺記念精神分析研究財団 事務局 kodera.fps@gmail.com



主催 小寺記念精神分析研究財団